



さあ、答え合わせをしよう！

第24週目 12/28 行ってみよう～長崎県（ながさきけん）からの出題

※ココを見てね！▶行ってみよう～長崎県（ながさきけん）

1. 長崎県（ながさきけん）は、全国で1番島の多い所です。何個ある？

正解：③971個

その数全国第1位というだけに、長崎県（ながさきけん）を正確（せいかく）な地図で見ると小さな島がたくさんあるね。正解は、③971個です。長崎県（ながさきけん）は、北東部が佐賀県（さがけん）に接（せつ）するほかはすべて海に面し、壱岐（いき）、対馬（つしま）、平戸島（ひらどしま）、五島列島（ごとうれっとう）など、大小さまざまな島があります。ちなみに第2位は鹿児島県 605、次いで、北海道 509、島根県 369 ……と続きます。

2. 長崎県（ながさきけん）で、九州南部や南西諸島（なんせいしよとう）とのつながりが深い地域（ちいき）は、次のうち、どこですか？

正解：③五島列島（ごとうれっとう）

正解は、③五島列島（ごとうれっとう）です。県の西部に位置（いち）する五島列島（ごとうれっとう）では、大昔から南西諸島（なんせいしよとう）／現在の沖縄県（おきなわけん）と鹿児島県（かごしまけん）の一部）との交流（こうりゅう）があり、みつけた墓（はか）からは、南の島でしかとれない貝で作ったアクセサリーなどが発見されています。ちなみに、壱岐（いき）や対馬（つしま）とつながりが深かったのは、朝鮮半島（ちょうせんはんとう）です。いずれにしても、大昔の人々は、遠（とお）い所にも出かけてゆき、さまざまな地域（ちいき）の人たちと交流（こうりゅう）し、活動（かつどう）していたんですね。

3. 県の北部では洞窟（どうくつ）を住まいにした遺跡（いせき）がたくさん見つかっています。それらは、何時代の遺跡（いせき）ですか？

正解：①旧石器時代（きゅうせっきじだい）

住まいは、時代（じだい）とともに変化（へんか）がみられるものの一つだね。人々が洞窟（どうくつ）を住まいにしていたのは、獲物（えもの）を追（お）って狩猟生活（しゅりようせいかつ）をしていた時代（じだい）のことですね。もちろん、世界をみれば、今でもテントや洞窟（どうくつ）を住まいにしている人たちがいるけれど、多くは食べ物が安定（あんてい）してとれるようになると、一つの場所に家をつくり住むようになります。なので、正解は、①旧石器時代（きゅうせっきじだい）です。

4. 原の辻遺跡（はらのつじいせき）の環濠（かんごう）の中から出土（しゅつど）した、人の顔のような石は、何とよばれていますか？

正解：③人面石（じんめんせき）

正解は、「お宝ベスト5」1つ目にあるように、③人面石（じんめんせき）。原の辻遺跡（はらのつじいせき）は、弥生時代（やよいじだい）の環濠集落（かんごうしゅうらく）で、『魏志』倭人伝（ぎしわじんてん）にも「一支国（いきこく）」として登場（とうじょう）しています。大昔から朝鮮半島（ちょうせんはんとう）との交易（こうえき）がさかんだったことがわかる珍（めづ）らしいものが出土（しゅつど）しています。「人面石くん」は、壱岐市（いきし）のご当地キャラクターにもなっているんだよ。

5. 泉福寺洞窟（せんぷくじどうくつ）から出土（しゅつど）した土器（どき）は、日本最古級のものです。それは、何と一緒に見つかったから？

正解：①細石器（さいせっき）

土器（どき）といえば、「縄文土器（じょうもんどき）」や「弥生土器（やよいどき）」が有名（ゆうめい）だけど、旧石器時代（きゅうせっきじだい）にもあったんだね。正解は「お宝ベスト5」2つ目にある通り、①細石器（さいせっき）。これは、旧石器時代（きゅうせっきじだい）の終わりごろに世界各地にあらわれる小さな石器（せっき）で、この道具と一緒に（いっしょ）にみつかったことから、土器（どき）の時代がわかったんだよ。